

平成14年10月度 大丸営業報告

1. 10月度営業概況

- ・ 下旬には気温が一気に冷え込んだものの、中旬までは平年と比較して3～4 高く重衣料を中心に秋物商品が苦戦、須磨店・芦屋店を加えた直営9店舗の売上高は対前年1.4%増、既存7店舗では同 3.7%となった。
- ・ 婦人服では、「エッシュ」「ソフール」をはじめとする当社の自主運営売場は善戦し前年増となったものの、全体ではミセス・ヤング共に、秋物主力商品であるジャケットなどの動きが鈍く伸び悩んだ。
- ・ 身の回り品では、ハンドバッグや旅行用品などに動きが見られたが、婦人靴やアクセサリなどは振るわなかった。
- ・ 東京店は、改装した食品売場が好調であったことに加え、9月にオープンした丸ビル効果が続き、3ヶ月連続で前年を上回った。
- ・ 京都店は、前年の婦人服・洋品売場の改装オープンの反動から、心齋橋店は、当月までは前年10月末に撤去したルイ・ヴィトンショップ売上の影響が残ることから、下げ幅を大きくした。

2. 10月度店舗別売上高対前年増減率(%)

店舗・地区	店舗売上			合計売上高	入店客数	営業日数 増減
	現金	掛	計			
心齋橋店	7.4	7.1	7.4	7.4	6.5	±0日
梅田店	2.9	4.2	2.9	2.9	4.8	±0日
大阪地区計			5.4	5.4		
東京店	0.3	14.2	1.3	1.4	1.6	±0日
京都店	7.3	3.9	6.7	6.7	7.2	±0日
山科店	2.3	30.3	2.8	2.8		±0日
京都地区計	6.7	3.8	6.2	6.2		
神戸店	1.0	1.5	1.0	1.0	1.1	±0日
新長田店	7.9	0.2	7.8	7.8		±0日
須磨店	--	--	--	--		±0日
芦屋店	--	--	--	--		±0日
神戸地区計	19.8	7.8	18.1	18.1		
全社合計	1.8	0.8	1.4	1.4		
既存7店舗計	3.8	3.0	3.7	3.7	3.4	

前年と比較して土曜日、日曜日・祝日は同日数

入店客数の計は既存5店舗計

3. 下期累計（9月～10月）店舗別売上高対前年増減率（％）

店舗・地区	店 舗 売 上			合計売上高	入店客数	営業日数 増 減
	現金	掛	計			
心斎橋店	7.9	4.3	6.9	6.9	5.7	±0日
梅田店	5.5	9.4	5.8	5.8	3.7	±0日
大阪地区計			6.4	6.4		
東京店	2.3	16.3	4.0	4.0	5.6	±0日
京都店	2.7	3.7	3.0	3.0	5.4	±0日
山科店	0.6	17.2	0.3	0.3		±0日
京都地区計	2.6	3.6	2.8	2.8		
神戸店	1.4	2.0	0.9	0.9	1.6	±0日
新長田店	8.2	2.4	8.1	8.1		±0日
須磨店	--	--	--	--		±0日
芦屋店	--	--	--	--		±0日
神戸地区計	19.7	11.4	18.6	18.6		
全社合計	2.5	0.8	2.2	2.2		
既存7店舗計	3.3	1.3	3.0	3.0	1.8	

前年と比較して土曜日、日曜日・祝日は同日数

入店客数の計は既存5店舗計

4. 10月度商品群別全社売上対前年増減率（％）

商品群	10月度		下期累計（9月～10月）	
	9店計	既存7店計	9店計	既存7店計
紳士服・洋品	1.8	0.6	0.2	2.5
婦人服・洋品	3.1	1.6	4.0	0.7
子供服・洋品	8.0	0.3	8.0	1.4
その他の衣料品	3.6	3.6	2.2	2.2
衣料品計	2.7	1.4	3.1	1.0
身の回り品	9.4	11.1	9.1	10.7
家具	18.0	18.0	19.1	19.1
家電	6.8	6.8	6.5	6.5
その他の家庭用品	4.4	9.7	2.5	7.5
家庭用品計	7.5	10.7	7.9	10.9
食料品	13.0	2.7	15.4	1.3
食堂・喫茶	2.2	6.7	0.4	4.4
雑貨	2.1	2.1	1.3	1.3
サービス	23.9	4.6	21.7	2.2
その他	7.0	6.8	27.1	26.5
合 計	1.4	3.7	2.2	3.0

お問い合わせ先

株式会社大丸 本社広報室

TEL (06) 6281-9002

FAX (06) 6245-1343

以上